

## 様式 6

高知県立大学において以下の研究を実施しました。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	「医療機関における社会的ハイリスク妊婦へのエンパワメントに着目した支援モデル作成」(看研倫 19-10)
研究責任者 (所属)	幸崎 若菜 高知県立大学看護学部 助教 (当時)
共同研究者等 (所属)	なし
研究の目的	① 妊娠期からの医療機関における社会的ハイリスク妊婦への支援を明らかにする。 ② 妊娠期からの社会的ハイリスク妊婦への支援をエンパワメントに着目して分析し、モデル案の試案を作成
研究開始日	2019年6月20日
調査データの該当期間	2019年8月1日から2019年11月30日
研究の方法	●対象となる皆様 2015年4月1日～2018年3月31日までに、社会的ハイリスク妊婦として、支援外来での支援を受けたことがある女性16名で同意書を記載した方 ●利用する情報 ・要配慮個人情報 ・個人関連情報等
個人情報の取り扱い	利用する情報から研究協力施設及び研究対象者特定できる情報は研究終了後、削除します。学会誌等への公表の際には、施設・個人が特定できないよう匿名化処理を行います。
利益相反	なし
問い合わせ先	東京都立大学大学院 人間健康科学研究科看護科学域 客員研究員 幸崎 若菜 k_wakana@tmu.ac.jp